

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第79号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年5月15日 08時00分ごろ	
発生場所	静岡県御前崎市御前崎港防波堤B灯台から真方位092° 1,400m付近 (概位 北緯34° 37.3′ 東経138° 14.5′)	
事故等調査の経過	平成22年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>漁船 ^{おかむら}岡村丸、1.1トン S03-22035（漁船登録番号）、個人所有 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	船外機及び電装品濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、御前崎港東方沖で操業を終え、機関を微速力前進にかけて右舵をとったとき、船首左舷方から波が打ち込み、海水が右舷側に滞留して船体が右舷側に傾斜した状態で、引き続く波を左舷方から受け、平成22年5月15日08時00分ごろ、右舷側に転覆した。</p> <p>船長は、転覆した船内から海面に逃れたところ、付近を航行していたプレジャーボートに救助された。</p> <p>本船は、同プレジャーボートにより御前崎港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1.5～2.0m</p>	
その他の事項	船長は、救命胴衣を着用していた。	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし あり</p> <p>本船は、御前崎港東方沖において、船内に打ち込んだ海水が右舷側に滞留し、船体が右舷側に傾斜した際、引き続く波を左舷方から受けたため、傾斜が増大して右舷側に転覆したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、御前崎港東方沖において、船内に打ち込んだ海水が右舷側に滞留し、船体が右舷側に傾斜した際、引き続く波を左舷方から受けたため、右舷側に転覆したことにより発生したものと考えられる。	